任平安南道知事

平安北道知事(19)

石

仏願死本官(各通)

忠淸北道參與官

總督府事務官

任府尹(京城) 日惠

總裁宮殿下台臨

日本新聞協會大會

全羅北道知事

义官分限合第十一條第一項第四號によ

高

任同

專賣局長(三等)

專賣局長

郞

P. 務局長兼中樞院書記官長

任京畿道知事(章)

任

朝鮮

京畿道知事

任同

學務局長(等)

永

任本府事務官(三等)

務局長

大

道事務官(京畿内)

**港位劃四等 棟** 

時本府人事大異動に願する號外 雅子 日午町十

授底設議数の古島・雄者、

心に本質散や委批館を傍聴し

勇退者の行方 具體能励趣によれず撤棄的に搬利右の如く帝國が何を要求するかの

より理事會開催の結果次の件を決断解貿易協會では十九日午後二時

| 日左の如く發令された|| 日左の如く決定、上奏御裁可を出語中であつたが二十日夜の持廻り閣議で左の如く决定、上奏御裁可を過長の覓退や契機として斷行されることになり總督府より拓務省を通じ過長の覓退や契機として斷行されることになり總督府より拓務省を通じ、

絕督就任以來

是1948四票 朱 荣 慶尚南道参興官兼道事務官

慶尚北道産業部後少命

不北 (二等三級)の内据局長を無 金馬撒燈北器與當(二等三)原城府尹(二等三級)の殷北知事

監查局事務官 小田島返言 (平郷經理) 本府稅務

嚴昌娛

陸軍航空隊は二十日左の如く膨逐[サンデイゴニ十日電通] 富地の

退撃機十五豪、債祭機一張及びて爆撃機十二豪、攻撃機十毫、攻撃機十毫、

氏(民政)音域、趣言につき滅乱 め瀬場の批手に激られて町田忠治を緊急上帯し提案の主言証明のた

「唯今御説明になつた決議業のれば総言を求めて廣田首組より

建立六多数、決議案は可決さった上

趣古歴囲を行つて陸壊す一起立したが小山南氏(第二世皇)

は勿論その他各張盛典は一番に と政府の所信を披露する。かくて 御座百は政府も同路である」

天地玄黄 きつとお飲びになるだらう。

花 治

い、生活はありませんから、常人の若い緒より、とけいに何か、からを認っるに悪死してゐる元気としたって、それがひとくなると、暗にこく、なって来るのちゃないか

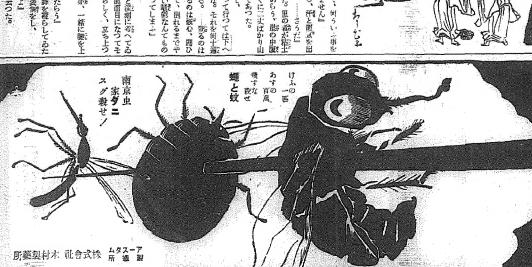
には、うんと

お集す用にそる数ア かます用にそる数ア サミーア日 まさきでの効果ス さをスーか せせん効設力はにかい いむ成スら 人ずかは虫本一字今 来霧ご是 に御必作依にく自

伊佛英日

置存拾





1 - A 畵 作 (129)

強 力

削虫殺 **三**政南京山

+

く面目い名則がなつかしい、平響等さんとなった甘靡さん。何とな 権務監督局長軍を名残り備さうに

着らしく半點の直都、京城府に府

新府尹さん甘蔗さんのお話

ろしく協力を順つて力一ばいや

避代局長中稀に見るところ、局長

たものあつ!」

新學務局長富永さん

政治科に進み在中に高文をバス明治四十四年一高から東京帝大

人宣傳等係かな期間ではあつたが

際殿以制度の改善、カード排 郷の事での問題連出、第

輝く足跡

で住みなれた知事室にないねえーーといつた「學務局長」も悪い描え

それでもニコーへ空話し出す。 「中年こくの設立と共に来し今 でこれといってお後にも立たなかつたのを建念に思ひます。 今度原場所の書さんと舞かせていたとになればらんと働かせていたといればらんと動かせていた。

明日の感覚の生産をきづきその指

道知事語る 安井新京畿

として指すれつ、京談道知事に続

しそうな廿一日朝の富永 安井さん後を一つよ

か

役所畑

月

事がつた、新局長の窓頭を叩けば 今なりたてのほやく〜で具種的 な話は ないよ、そんな 事を聞 く方が霊型です、局長に就社し た以上は不益質行めるのみだ、 をします。

るで、適切適所ちゃいの数がドット

り至徳副海、豪隆語落で部下をトヨシざんとの間に三男一女あ に来任したもので家庭には夫人 安部技を経て昨年四月平北知事 内務部長となり同九年豊務局保 を廻り昭和八年十二月來鮮慶北

各方面から『臨水さんなら出来

子氏の後を襲つて撃役局長に意識氏は強か一年半足らずで遭悪難日 も自海をアッと云はせた高水文一 戯北知事から京成知事になった時

## 弾丸列車の 名に背かず日第二次のテスト列車を巡離した 選択たる済献空司車を今冬から京、滑り出た、県内には領鮮と戦、清(グン葬のて直緘コースでは時速は一行も自由だし、金堂のコップの水道現たる済献空司車を今冬から京、滑り出た、県内には領鮮と戦、清(グン葬のて直緘コースでは時速は一行も自由だし、金堂のコップの水道 発制に運動する。經道局では、廿一 ける景氣よく第二次試験

を破まじい剱ひでドクとばかりに「作も優めて見事だ、速度部はグン(娘し風彩を明始すると共に内一聡)郡越境を撃敗中、午前三時畝は薨二出衛所勇忌難而祭司の後に公蔵すると忠滋る局職を後に列刊は鬼攻撃。四分前でやる郡職県に総水する境(海山変國軍の合施郡四十歳名が来、郷郷したので所戴は戦の行動を第二二十日午前十一時卒化撃山撃復士(百八十度、年前七年2名米和何に「五十分大時に午後零時六分で東か」駐佐府直蜀殿観察察胡賈鎮に即版」を叛亂するため長攻撃発前に向け み』を後ぐ転状なもので過度第二 望取各一幅宛の七幅で取る「のぞ」にたくきつける小砂の音が息のや 三等食堂庫、一等料、機用用、服 は少しの不安も興へず、時折車高 四分間でやる機關単に読水する境面十分大郎に午後零時六分音重からな音を立てる、大田に午町九時

原典、1113等中、11135段。編集、 野虎殿士の横直を磨した血壁よりの到底の編成はメク忠解職地に三、砂盤をまして一般に通過する、駅へ大駐開半で四百五十キロを走廊するがれる、飛山、水気滞などの購も 出任財直到原職安願胡声頭に肥敗 を殺職するため長城駐在町に向け ◆ は正原に迦出、頓針脚皆蔵の越頭 | 笛を吹き鳴りして引しげた

強奪した上發砲す

察語生婦人選挙所有の高融計一変期の高級八名が近極側即中の安果

年卷以來京城、仁川、

、開城、水原

懸りとし、日夜抱造につとめてる

犯人の人相

を唯一の手

いか一と高いた名削を持つて、昨

の関ひの男に「圏を渡してくれな「他尊ではない、用があるからこ

から被に者の申台による から被に者の申台による

き容器にこの所在をつきとめるこ

各地の大工語資品左官等の留守宅。た結果、曹宅附近の新堂町になる

少女を泣か

4

列車は搭進
交票進会の

個列車をグン(一扱いて時間は正限別に景義として来る、途中十三 に午後 一時近い笹山にドラとばか

りに得ちかまへゐてる萬歳の聲が

新型の洗練型製快列車の電筋の駅上のですらこれである。十二月一日 の変快なスピードアップの有機が

員派特井藤

既に含むの気が作ぶ、試運動の状 Hの眺落しなを思はせる。 保剣の に潜伏し壁壁の計道中であつたの で誠はその一変ではないかと見ら 配百五十名は十九日同帰属子隣

早くも示して網路の欧

船夫一名を拉去した、服育に司令を駆び奏命一名、白米一斗を風撃

大學高野球一部の決勝戦、城大 質問題科の試合は廿日午後四時年 大學高專野球

から城大グラウンドで城大先攻、一谷里の茶家に客信したが難の盃を

十二の大スコアで城大優勝した 野和で開始、医養殖に入り十七樹 田石(第)中村、平井(巻)田元

大學201423000215

局に感づかれるとみて伸士風だの 最近風だの野園高風などと化けて しかも一定の服装をしておれば當 たひたち荒し主はつたものである わずれることが出來了一回詐欺を

といってある、本田署長は個人を といってある、本田署長は個人を

主人留守宅訪問の

一漢遂に捕

| 京城等で||三百餘件

東京大相撲 九日目取組

東京 和守 在新 大大 射球 香棉 經吉 寒 一層 小花 神 斯 山脈 川山 川梅 濱山 川嶺 山中 川里

革鉛ービツコ

差鉛ーラカリボ

つき遊響級郵瓶幕課では實内各號一級似してあるので十九日夜師人を訪れ、二圓宛を踏取した他人に「明新層を械」た男が犯人の人相

犯人は巡査さんの近所の男

と連絡をとり整備に配起となって「逐浦、二気が法主任立會のの下でつき追薦総郎脱幕線では質問音響」頭似してあるので十九日を領人を あたが、出役自在で賞局の甕をか<br />
一般重取調べの結果、一年半にわた

の一切を自由した、犯人は仁川生 り被言三百條件に選する二回詐欺

川の火事

く鎭火

月二十日迄ニ本学校内ニ於テ型

[二川電話] 脱票、萬石町石山倉

軍の火災は層向が廻らなかつた為

坂井耳鼻咽喉科

雷

俊

め隣接石山倉師に延城せず二十一 日午町八時、堂々約十九時間の近 火した戦争は最初四萬個程度が見

6月

作一形示 O五・一



領して、年二ヶ月の形をらけた、 出海に間はれてるた野集金を標

置家には父と母と異母兄の三人あ

平开美奈子▲八時二○分課









賣特仕奉大

附品景家用愛御

ガ買ラ用へ向

/]\ III

速刻御下命の程を!

一枚宛波れなく進星

一合瓶一本御買上毎に

イカリソース **今期間中** 





### 璺 壘

壘

お話中の信號の連貫

を知つてゐるので心強いよ、諸ては始めだが内務、警察兩部長でいやどうも、平北は任地とし 君の衆援をお願ひす

一人の電話で朝からそこの電話は

成北 南の風 か時々雨か

**廾一日朝の概况** 

低九度一 (二十一日) 最高二十

を摘り歯面に笑を深へて融る 稲和八年十二月十一代目府尹に 稲和八年十二月十一代目府尹に 西に御厄介にたりました。府 吏員の粛正、行政品域の遺霊に 上さ入方域の建設、水道第三到 遺派、電山奥の回園道路等越た て來た道を顧ると優しいものが

「現たかった、原北は京城へ来 「中国での内部が長年での古城 「中国での内部が長年での古城 に勝る思ひです際北ではまつ農 に勝る思ひです際北ではまつ農 「に勝る思ひです際北ではまつき 「に勝る思ひです際北ではまつき 「に勝る思ひです際北ではまつき 「は原理、下層と田の東部とは、日本 中国で内部が長年でれば が関と、下記されてはずの農 とているされて知り顔で好年のお になった。 これに水水を、キャリたいと思か これに水水を、キャリたいと思か これに水水を、キャリたいと思か これに水水を、キャリたいと思か これに水水を、キャリたいと思か

廿一日子前十一時半職長第には早 要道である平電知事に突破したが、半島の重 集めてゐた上內震策氏は手腕、輪魯の軍部長として本所內の信望を

日、平北に来たのが昨年四月で「こしまった」 「氏は誤問原生れの四十九歳の願きなかつた、寄鮮に来て二年六ケ 様したのは護に生田氏ありこれで なかつた、寄鮮に来て二年六ケ 様したのは護に生田氏ありこれで は、平北印象から内断信長に築 には誤問原生れの四十九歳の願き

た大竹印を訪ふと、さすがに繋び はあつさりした良い男だ 「新農州 950」内が同長に慈順し 「番長かつた、後任の美座さん」

**榮轉して本家歸へり** 

大竹さんに春

度北知事に禁順した伊遂四雄民城

慶北知事に行く 伊達さん

むつつりや 上内さん

しく飼鎖ひします
て抱質と云つたものはない、
で抱質と云つたものはない、

い、宣

むであらう

た半島學界に新鮮な空瀬を注ぎ込がこの愛蕾と抱責は必ずや北部し

詩吟府尹さ

**桁邦はホームスパンに包んだ回忆** 



ヴァルス・ブルエット ヤング管ブルー・ダニューブ ワルツ ヴィ カ 化 を 摘 み て ルソン労・マのお許しがないから オッツ

特 選 盤

時のわが家とう・クロスピッカウボーイの最後の歌 とこグ・クロスピュ 灰色のボンネット 類とルス・ブラザース MGM映画「適燈を整盤」より、ジャズ・コーラス 節 t 却何? 影コニー・ポスウエル 新近火御見無 下日弊社近火の際は早速御馳付け御見舞被 下日弊社近火の際は早速御馳付け御見舞被 下日弊社近火の際は早速御馳付け御見舞被 作日弊社近火の際は早速御馳付け御見舞被 に 敬 具

タイガー・ラグ共二 トン 答註祭题 アメリカ・ジャズの粋ブランスウイック吹込 メリカ・シャズの 気 社 祭 留

製造过資河 医液性蛋白素

仁川英油販賣組





彩

女子トレーサー募集

町便值區遊玩大 町室層本目官費

朝鮮窒素肥料珠會社

一家に一瓶常に健康

液虫殺的想理 フマキラー 百貨店におり

誘拐事件があつて 線送を費やか

設工見場所内では初女の迷び子や

てるたのを巡点中の龍山宮貨が遂一ふ整路青年で水号浦銀道工場に動

京城敦光町真張「しとい一梯、除罪を取調へ中

城北町のチフ

さらに積酸の心配

馬鹿者・危い處で遂に御用

山師道官舎光沢間太い氏方の佳子 あるが去る十日午後に野坂配

そのまと逃走した、その後も同家 するのを財験が残児、器を出すと では往意してゐたが、廿日午後じ

では既然禁仰京城府と協力研修陣 日までし名の新思省機生更に脱越 したが、引いきむ月二日から十八 の恐れかあるので東大門器衛生保

プラス懇談二名郷生間もなく死亡。行ぶと共に廿二日には住民企事に 京城城北町一帯には去る四月二日 を舞ぶ附近一帯の歌灣水の消滅を

大正五年卒業。久原孁業に入起上内知事は大分縣出身、東大をと誠石にうれしそうであつた でいた対を行ふ事になった イフセンイング

同整務課長、同保安課長等半島本府並會課長、本府國書課長、本府國書課長、本府國書課長、

題に昭和八年を脚で一年の歴年後出歌した後は再び非常で二年の趣 原のいましめに更生を繋びに川金

いつのことやら一とうがつた繋で 座さんは刺符にもなれず、知事は 同長に韓出した母お雰囲逝は「美 美座さん

だ、層山の甌舎に任平北道知事の 喇つたものだ、待では海路の日和

壘

つも貴方の事はかり 

ノは聞きいわるの頭痛薬

箱暴ふ青空氏

こんな氣樂な所はないと

留置場入りを哀願

る道具等を所持し高麗町附近を押 風出敗包に石脈川鉄や附住に舞台 作数(1)は去る十八日平前帯時頃

開城了府內一該町二二八條版金

城の電線泥

をウロつくより南京虫はゐても三

より順川器では直ちに金を協郷し

十六日の総容疑者として平勝者一不心標を除されスコートーと除った東年町から所内を徘徊してゐた一階を訪れ哀願したが聞かれずその

ろんでゐる方がよいと二十日平暦 勢揃ひ中に

總くづれ

鐵鐵で同三米(二十一錢)「朝町川村鐵工房に七百七十圓で食」用小塚校六年生亮書(この失踪組局五十米(三回五十錢)白一圓)を傾内橋中町正也で入工職と「【馬山】(熊梨、都町宇山牌瀬氏三

「開城」府内北平町三二一無機・井

王家を荒す

治に関し内地労働の有望を説き歴 **業所坑夫金店後(ごとは迎日郡印 海**河 福岡縣數手都占月村数

場で人夫が發見

しかし貴重な遺物は見當ら

泥棒青年失敗の卷 **▲**馬山酸 午前八時半 午號一時半 ◆馬山着 午後八時 中後八時 こせは二百二十四を称う上げて

人妻に挑む 観暴男を告破

平地の畑中から偶然にも土器の破一十九目に至りその目的を選した。 頃の中『石墨墳』は昭和七年石景 片を人夫が起記し子嫌害動館に国一境は全部石材で築かれ品さは不明 里・同八年真相里に各一基あるの

機に「アララギ」を使用した棺材で負重物は何もなくただ漫道入口

敷片と原映した郷町一本しか莵郷一は前畑された石宝墳×田楽道)

返露他の複字氏(\*\*)が平場者に飛

廿日ダ明け筑桁内鉱質型)強銀紅岩変弱資温万藤人景砂収条氏(こいが平線音に) といけ、九日の次友強四人と欧江ステ人の不在中に流流が、友強等が登りを置け、郷のはいてあるので削雪)の暖原準と利つた

込み。只今天の不在中に帰盗が

不良看板お拂 観光釜山の名折れどして

で負重動は何もなくた。夏見して、 150元の最小のである。な民よりなる一宝の最小小さなもの。 ほ今回鑑記された石製は前記三輩 ストリカる一宝の最小小された石製は前記三輩 フィリウに見重なものである。な

に至り右古頃の西方約二丁記てた「境であるため膨揺に苦心しヤット

みであったが、從來認知された古

工を出り取つてかるが去る十五日一ため調査液れとなり未受験という。出来す骨片に前記土器破片数層の

石室墳では萬點の異色

から一門ばかり離れた明岩里部一早く逃走したので捜査中

悩ましの人妻

警察を騒がす

姿に狂ふ夫の愛を

取戻すべく一狂言

70色中前記三匹の犬に吠えられ遠 期川郡舍人面舍人里二清洞金郎吉

れ任所不定構定版(デー)といひ膨家原語に異き出したが石は無二浦生 るので主人根さんが不能に思ひ ル新興福米所の下場内にあつ

しかられ最深ひに出たので所女は「がため同里運過の寝舎、護盗員士「中軍第一撃古戦的立から埋立用の(校人してやにはに所女に当して任 国一都は一時に相水を来たしこれ | 立下部の第目下大師都大師江面町(校人してやにはに所女に当して任 国一都は一時に相水を来たしこれ | 立下部の第目下大師都大師江面町(大師江底巻埋 の要率氏でもが数類場で仕事中、一きの西町一帯の慈順となったが、一間保着を電腦させたニュー 新京清津間の飛行 【平樹】十八日夜來の雨は是天間

雨で清津飛行塲着陸危險

迎えの外に今川内地で薪遣した快

従来当川紀公開に配船してるた太

はら歌姫阿及蘭変川帝第一二

馬山統營間

徹底的改修を要望

第一歩を印した駅光客に思い第一 哉としい色形と文字人りの電板と 脳をもつて低する街内の疑問が、

一・二の反對のため行機み中、こ 「Males」各郷表忠寺住職の選獎は

表忠寺住職決定

たところ量数の使人とは成赤な嘘

正年から横内黄星で耕作都後良処

道道部員選舉の時各新聞記者が

脚金交附式

【釜山】製光路間では朝鮮の表立] と實行方法を考慮中である

協會で對策を練る

大聲で数助を求めたところ、帰盗

で行けといひその際に飛び出て

地下の尤庵公も泣かう

格に落沓、よる八日塵襲に始する「鳴河の第一曲) 格に落沓、よる八日塵襲に始する「鳴河の第一曲)

陽洞競賣

山で最勝地一帯をデスがに風歌 小敷産は勿論華陽里間後に握け 水源的資林及ひ保安林で百餘

**権を一萬三千百六十個と比番ので、ることになったが老前時代に羽接として楽り賦裁順では右不動変版** として楽り賦裁順では右不動変版 「世紀」、「日本田」「日本年世の名称が現底」「八国に引き下げ来る」十八日午町 を目指す

いし泣きで毎山へ伴れ続った「影楽に少からざる情報を映へるば、厳重その方法を計画中である 近慶市に被響不正型無が崩壊して、空間立場に際し着が署と連絡し、「徹城」後雪収入の身派に伴ひ縁。を及ぼすので、「超域部では目下

「同)(以上穴資脈が弾) こめた手織を出したが返事がない「同)(以上穴資脈が弾) 本千嶋 四 こけ 間地管通 撃投方 年史学会子 型型 三十八秒 日本下側 四 こけ 間地管通 撃投方 年史学会子 コイル・海豚が河郷・ 本下 木目 こめた手織を出したが返事がない フィック・

指導監督はエル大水体影響手由橋ので概義中は数量をのぞき込み往 個の途中に待ちらけては近づくの でつひに同校長は所務與海駐在所

出舍者を騙す

大邱供託局長 綾生 淺水

艶々した色白の肌に

ビは次第に消え

下さいまして試

吹出物は消え

色の白い肌に

新海縣 山 川 選 新海縣 山 川 選

の中へ出られる様に の中へ出られる様に の中へ出られる様に 近日中にまた影画を一ケお送り

の細かい色白に

ソバカスと シミが薄れ

つてゐるので買収後伐採も不可能 |整山にゐること報明、直に交兄念 概でもあり一方、保安税にな「統立手配中の魔十九日夕組続者は」なってゐたところ何しる窓大「供は、蠢慾、製模、系族協力して

仁川高女陣營を固め

月尾島で猛練習

新しい手當と豫防

キビや吹出物の

O

姦夫婦殺し 控訴したが

一審の通り

一般には、一般になりますと、 ・ 一般には、一般になりますと、 ・ 一般には、一般になり、ますと、 ・ 一般には、一般になり、これでは、 ・ 一般には、 ・ 一般には、 ・ 一般になり、これでは、 ・ 一般になり、これでは、 ・ 一般になった。 ・ 一般になった。 ・ 一般になった。 ・ 一般になった。 ・ 一般になった。 ・ 一般になった。 ・ 一般には、 ・ 一般になった。 ・ 一般には、 ・ 一般には、 ・ 一般には、 ・ 一般には、 ・ 一般には、 ・ 一般になった。 ・ 一般には、 ・ 一、 ・ 一、

都法院に培所した金南完島都香花

大邱法院異動

市局選出来扱利所書記、命大・御願ひしましたレジ文献宣替選記・中村・正夫 だらは郷々に中に次文献の

質りしましたレオン洗顔クリー先日は御多化中にもからはらず

中へも出られなかつと

当する

酷い脂質もサラリと

**営馬の方でも歌がに出くなり、職権などは極めて容易に、生れつき** 

さいないのです。 対するつもりです。 対するつもりです。 対するつもりです。 晋川縣 藤本まさ子

意注御 

監査制の総合作用に依みものであります。 野の路り歌よく、黒、なります。 野の路り歌よく、黒、なりまで、「野の海峡をとして出いられて揺籃の効果を挙げてのますのれて揺籃の効果を挙げてのますの

+

|辞録はこれが本年の歴初である| 町四八八古物調金東遊に一片三十二た前頭取割べ中||存不通となった、陸雨による交」を配取し何れる準線として前四宮 し鏡の側で度却したことを自己

下掲五の後辺として原転させ、脚・二河蛭人男の指型原足して原転させ、脚・二河蛭人男の発酵を連行人が開墾面の料理下型数の終行で簡単、午前人時頃火利町基督教幼稚町は「養養」、フィー

翼に繋がせたが、機能が出傷する「出訴したので励敵では日下取職べた、吉服」とを即領面員任、金寨」のとなりや観示を担手に減州戦へな、吉服」とのを加強面員任、金寨」のとなりや観示を担手に減州戦へて、近による九年二月二十二日、艮一が歴光闘家した金寨融の知るとこ

清州、南一面黄油里越梁率翻落ら四十国の身代金を受取つたこと

**過慾な父親** 

語のブールで遠縁間を開始するこ

・八砂六(肩)▲:百米メド ・八砂六(肩)▲:百米メド ・ こころろ

山川の球界

王座を規

堅陣の整備を急ぐ

本社で座談會開く

水上細鎖を目指し六月早々月年

高女は今シーズン

が眩む

娘婿の出稼ぎ中に

娘を囮に結婚詐欺

中を奇貨として金に目が防み娘中

公設球場の捕物 舞い戻って悠々蹴球見物 | 1111 | 所養公裁野麻鬼はより初 | 町二八四、総武士織疾継の方に旅 して特権を行うて変たころ間変十一 | 中副 報見 | 1111 | 所養公裁野麻鬼はより初 | 町二八四、総武士織を卸けに譲 | は、本のボケットの記を外 間に | 1111 | 所養公裁野麻鬼の配 | 大中をよう十九日開張機能に卸版 | 1211 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 | 121 |

の結果、四月上。以来 ・ 大学の一大・年代 調月 2000年 1000年 1 側中明城書記に解説され、東淵ベー場の出納館として興いてゐた年習「方披奪中のところ故郷聽しく弾ひる道具等を所持し高麗町的史を俳」 [平壤] 不興府箕林里大島コム王 [却し溺洲に淤走、以来大郎器で行 大金横領男を就縛 長り、去る十六日公散グラウンド方投重中のところ放郷難しく舞ひ

為、愛斯家を樂めず仁川愛斯者腔避避に署興すべく近く前内の鑑誠

行樂氣分で

部落民まで應援し

**意地に遊び午後七陸暗跡路につい「シ・鑑夫用選具・石等で酢衄一行」が縮的の妓生二名を連れて郊外期「三十餘名も獨夫側に加勢しラルハ** 間は2011年の人が妓生だけは乗れと||急報により清州署政二名自動車で 【清州】邑内清水町魚物商許釽(二) 落まで遊げ込んだが端天等は進つ たところ明岩皇金山護夫十名が一二の背中にソルハンの複雑が疑る。福農州支護書配 外六名は去る十八日午後三時頃一かけて來て、それに明岩里部落民 『船を占領してゐたので交代を | 深得外二、三ヶ所に重傷を、許確 遂に負傷者を出す

らかひ、許錦等は相手にしなか一覧けつけ襲行者中の主な諸五名を たが顔夫等は船を策て許細等に「速加」聴取調べの後春成、首談者 股州支贈書記 中野 洗維

大邱復新書記 關 高速

那さんで新任早々で

竹鷄さんの氏名で途にストップ、

のも続だったのが、レキンを使用 り軽りましてキメも状態より組み り軽りましてキメも状態より組み くなり目記の保わる大魔よくなり てから約年年にクリームを使用

なくなって影り 近クリームには エナ、その頃となれば、絹曜世庸 めは極大少量から試み追々増量し

ぐめ地内

記手關行版學修女高一第城京 (F) へ山叡比

エミキ田園

多数能出せられたこと……を耽る窓のみならず画師と叩がれた僧が

けて、女人祭副を行ひ、僧侶たち 進に望み、昔、この厳山に結界を赴 那辰そのものの蠢山で、京の歌を

が、修行を踏んで結果、臅り天台

、卵黄などを、少量與、すっことも

(三) お掘は最初から濃厚なもの

で興ふるもよし)を試みます、初れなどを加へて『マッシュ』とし 個別などを加へて味をつける、牛 野著、岩い豌豆などの裏灘(쮚、 Cill 芽劇劇になつたら崩々、馬 と極く流んだ病を見へるやうに 上澄を興へるのであります。注意

事が必要であります。」たとへば吹

世俗のうるさい支盤に違っかり

(四) お親とか「おつゆ」

只幾一萬歌帝國 西望京城服界空 中齊

三つ十銭といふので皆の財布から

道の開題には天をも蒙するばかり

ムでは雲笛を踏んに渡ってるる。 い機な領がしてならなかった。こ と、他では骨軽い無際に打たれ、

の御山を踏んだ足がもつたいな

とろ火で三時間はも四つて十分煮 を用ひてもよろしいでせる。但し

一つおつゆは生後むしみヶ月頃

四中はか日一世に影館の展際版内宣譯語 **詹 展裁盆** 日は者据入。れば列除が勢下八百智順総単1、草下,裁定でまり 下食ももか報子李で品出の僧好風銀結以に、ふ家出が復顧に由 銀絡同は展覧)るあも樹柏山綿,草は、しる途中草下,りちかり (加列陣の

等の『十主し』汁・吸は味噌汁の 論繋、トマト・キャベツ・淬麻み具みる方が宜しいニンジン・ とならば、攪乳時に時々少量を流

菜区

24

は次の五つの事に利用せられる時

兒

場い頃のお子標をお持ちのお家庭

は御注意になる事が肝要ですい

既化される時期で若い、更角態に

心臓を傷つけるのです 10といった、些細な事が、非常に からいって女に刺しての楽さ方

感じ易

いと女群

「家庭の指導方法こついて

青葉の五

てあまり形の上にもよいものでは 人でも真正面は創作が強くとれ

のやらにするとやせてみえます 向いたやうにすると無能です。 くにいかり解、太つてふる方はそ

どんな姿のよ 3 2

され方 

ます、また預情の出てゐる方はそ

ると一向はえないものにうつるこ 眼には大へん类しくとも駆威にと

こに紅をつけてほかすとよろしい つたい服の方はまぶたに紅をさし 化粧が耐化粧がよろしい、ばれ狂 は便いので、秋い歌じの出る肥白い化粧はしないことです趣味自め

とがよくあります

鼻すぢを進せるには鼻のわさか

、算すっとれますが、黒地に白の降稿はあ一出し思すべきです

黒地に白ぬきのものははつきり

音楽レコードでもかけ歌いぶ分を

ところ、後歴どのは、臨刑場に居 一交兵衛とのを探したまるりました

りませんでした。それ弦、志所を

我主吾へ御被婆も改さす引取りま

たロスルト、季節が、

肌は

「うむ。三年同様、やはり失念

品を持ちかへりまして御屋りませ どのは、何れにまるつで居りまし してございますが、癖に、父兵衛 等ね歩き、深思に及びました故、

と、父兵衛の方を振り返り。

悪い時はとらないで明る気分の時

更に角質分の悪い時、體具合の

「我主酒に申上げまする。昨夜、

手な寫眞の

形のよい方とか顎の形のよい方は

しくとれるものです

つけると観念器がはきりる 形をはつきりつけ、口紅も形よく

と整ひま

といる系統は全事黒になります

また花島などの大きな飛び点は

短のこけた人は説脂液をよくん

一着物の柄と色

けして指角の顔が引立たないこと

幽霊は豪傑

出す却つてはなやかな改芸に願ま は筋の大きいために全體の意味が

製団に強い日

知つておくことです。中島の鼻の

間のうすい方は無でかきたして

紫、紫色、ほかし、だんだらとい

ふものは日くなり、茶、赤、既脂

どちらを飼いたら寫眞によいかを一ちがうき出してうつります。

は眼の表情 むつかしいの

**過は少し料にして、顔だけ正面** 

神經は尖鋭化する

考へさせたりしないやうにむす場に触などを明整的に破べたり

は知っておかねばなりません

(現代の 世際について、あまり

2ものでして、そこのこつを熟度

さで、削申したやらに、何でもな

Œ

太之職、其方は如何したのぢゃ るべき品を持ち跳ったと申すぞ!

ウム、父兵衛は、龍に飛嫌とな

国兵衛年高が、

の品を出して見い。尚交、昨夜

また、うと他のあとよりまるつ

一年を始め、一間のはうをパッと

人生傷をがぬ的に 他們に到して不

もおかしかつだり、それと反射

く、様にセンチになり書がころん 成績が、甲の物が一つとになっ

せるとか、父上級學校へ進ますべ

とか、といい風に、精神統 く一心に勘神をそれに向ける



スの親男な小久さんが長いブラッシでキリンの前を洗ってゐるところです

キリンのお掃除

治れた機ではキリンも管持が無からうとサーカ

「問】 | 今年二十七歳の女ですが 加にどうもしないのに左の胸の 加にどうもしないのに左の胸の



筋迪動機器・温泉・法等も良及が

島田啓二

観弾の内服や・簡単道を所法、指

リウム」帯の別き「サリテール」

讀志

ピクレン「サリテール」観『ナトはれます、原法としては「アース 極度の順門「ロイマチス」かと思

その一個間位前の窓間から来た極

**ウムナン**倉舎

年後一時より京城三越位交 学 整 だ よ り

本田博士









るので、我が年島の乙女等は日く 下る。途中気笛を四筒十銭で費つ でゐたり、五箇十錢であつたりす 土地が高ければ、品物の値段も 延暦を山内の大藤堂 向ふる山 道を通つて、不厩の法庭で名高い 際山の善男善女が記指りに来てる てより、今に至るも消ゆる事なと、とれ弘し元年大師が、明らけくとれ弘し元年大師が、明らけくとは、日本の歴代とと詠じ自ら點せられ、とは本中堂へと向ふ、と根本中堂へと向ふ、と 山昭副一干一百五十年大法豊で、 るくなる位仰いだ。大器堂では當

見事なが、情の大元禄その立訳 「選警後く変り、蛇の出野を引く8の開盟には天をも配するばかり」と続されてあった。お堂の様には

関く

といる末生流家元の中山文甫宗匠 は十八日來城、龍山鐵道頂需要で お弟子さん蓮の教習會を行つてる 生花から近代的な恋愛を求めよう

長谷川

さもあらん!シテ・ と、飲ねられて、

題に見掛けに

いよりへ放山ともお願れして 生花の展覽會 中山文甫宗匠が大澤商會で

再びケーブルカーの人となる

にも出さなかつた。 に遺ぼされたことなどは、 と、云つたが、虚刑場で酷い目

「へい。置は其の、汗雷、勝刻を まるつたと申すその直接の品は 「ウム、其方の異語に法ちてか?

したが、昨夜の亡霊は、何れ」 と、言つた。

「うむ、時刻を通いした故・聞れ

どもあらはれませんでした。 りませず、且又、壁の如き怪火な たが、質どのも、父兵衛どのも居 ます。昨夜、咸刑器にまるりましてへい。實は、そのなんで御座り 言はれて、衣電子かい

はれなかつたと思はれまする の無気に怯え、恐らく化物もあら

「されば、昨夜の剛盛には、何れ

影響であつたか、詳

で女子は一人もありませ 思議なことには、男の亡靈ばかり

心得ましたが、さやらのことを放びし、城中へ引立てまるらうとは 年のはらをおつと見て、 の手前、腹でも切つては、深の影しては、幽霊も、耻を極き、一同 「さればで御座りまする」 「質は、 と、交兵衛は、また六之帰 腹でも切つては、 幽塵の二三人を生捕りに

行けば

グろ

开ばむ頭

船に任しいことも細摩いません。私が壊飛場にまるりました時は、

化粧崩れの

ゼぬ肌は



つて参つたであらうナー 足めし、職職となるべき品を、特にのよった。其方は、如何致したのちゃ? 行方ばかり探ね歩きまして・ 一は、質は、手関も、交兵衛との、 たと申 すの ぢやナ と、六之幡も 伯 Œ 鸖 美 …こ れガツ

十 和 昭

海港・編集・設定が最大、最後の一演に至るまで完全 にその效力を保着す オキシフル以外にオキシフルなし 機盤品あり、御賀上の節は

1版 100瓦入 500瓦入 賦行等には携帯至便なる 健劇(50能入)もあり

東京・宝町

新 山経 は

三共株式會武

ļ 愛用に ド洗粉の

したか、次ぎ次ぎに、不思議な断

したが、やがて半期ほど、縦ちま

られます つてのみ



お整へになられば 来肌の滑らかさを



阪 大 マボ島金



一米越せば大丈夫

目信タツプ

度士 大槻六先生 · 有効御證明 南京虫等害虫の数虫保証

館は香味いとか住安 野 大 住 安 熊 仁 大 阪 大

家庭用

**薾殺虫液** 

**若草映画劇場** 

午後三時。惟息 ーシン活用の時 元 遠 星 ルビ丸京東 社會式株準漁魯日 元 貞 敦 ルビ丸京東 倉西洋北社舎式株

製 子 皮 口 姙 酸 桜 胃 脂 常 便 宮 扇 坂 門 井 酸 助 器 題 內 請 酸 性 將 下 過 過 経 腸 股 疾 呕 响 和 多 多 結 麻 変 悪 炎 吐 <sup>表</sup> 在 症 症 元賣發造製 二寺圓高區並杉市京東 所究研藥製大六

Ħ

症

みやけ、ドツルチュクを引った人の大喜か

西班克斯

5-B

5132 5133 (5135 (5136 4763

地金銀の消費

非公式的に禁止 (國が金取引を

島刻下の急務





いで松尾四 8氏(民政)より歴一を上謀し、等内陸相提総理由を述一次田 法制局長官

一、昭和十一 年勅令第 二十一號 作)承諾を求むら件

寺內陸相 成殿令解除の

い、重法實施は慎重に養理中で 上半た流散の情勢より見て本動。頭野事深公健法中国正法総数は明述べたところを以て窮事ありた。 等内 陸 相 政府は事件の性質 三般のみとなつた。通して右の内と相 政府は事件の性質 の四戦この側に距域経済的の法案 一十八八、脱上和 電響く引車して とて東法関議の方法について質す の四戦この側に距域経済的の法案 一十八八、脱上和 電響く引車して

思索したついては適日秘密會で とて軍法関節の方法について質す 四、温鮮明教を経済的の不可談に入り の解解をなずには顕常野山中な 懐を可決して直もに動脈院説的の不可談に入り の解解をなずには顕常野山中な 懐を可決して直もに動脈院説的の不可違に入り の解解をなずには顕常野山中な 懐を可決して直もに動脈院説的の不可違に入り の解解をなずには顕常野山中な 懐を可決して直もに動脈院説的の不可違に入り の解解をなずには顕常野山中な 懐を可決して直もに動脈院説的の不可違に入り

尾崎翁がきのふ

躍つて山山に立ちてこれが質成論 と地域の者宿に簡易覚れかを観え

[原見版語] 第二世紀の小山党氏

心境を証

各派交渉會の決定に基く

ではないか、自らその責任を考へ事件を起した開田内閣の開催の開催の開催を起した開田内閣の開催

めた上二十二日午前十時各派交渉

たことについて、午後一時より院

て立つたものは、しかる全領員代表者、影響の決定に進度し起立しなかったい、しかる全領員代表者、影響の決定に進度し起立しなかって立つたものは、

【東京旅話】二十一日の本質路線

(東京電話) 廿一日の家庭終本館 | べて真壁に入り | (東京電話) 廿一日の家庭終本館 | べて真壁に入り

衆議院本會議(劉

を表し採供の結果開基

一級可決し

谷前犬(戯友)中氏より戦略の意質が関すると、「大きなない」のでは、「大きなない」と、「大きなない」のでは、「大きない」のでは、「大きない」のでは、「大きない」のでは、「大きない」のでは、「大きない」のでは、

適用する件) 承諾を 求むる件 定の地域に飛磁中必要な規定を一、昭和十一年助令第十八號(一

自己一十一月年後三昧三

**改上千後三時四十分秘密館に入り(他に馳する所信を置し返に總督府軍常局に副し質問あり、即述の住。佐石術門氏(民政)除済部賞その** 4 受四時二十五分公時、海車側よ | の総設する新級は急行列車を運搬

(政友) 华嶼は重

果滿場一致をもつて可決、六時五十五分散會した

鮮事業公債法案中

から將来は無行列車を運轉する吉田 鮮鐵 局長 幹線である

り松尾四郎氏(民政)小谷節夫氏(政友)からそれぞれ賛成意見を述べ、採決の結ちたが、更に五時十分一旦休憩となり六時五十分再崩、質疑を打切つて討論にの運輸系統に關し質疑を重ねて、11時四十分秘密會に入り四時四十分秘密會を常配出 11+1日の鴻崗層解炎衛徒中監査總統を整路上登団産出際、釜山京城間の新建設鐵

きのふの衆議院委員會

致を以て可決

民政族総政の国就左の如し 決談案提出に際し、町田

五月四日第六十九回省國

朝鮮事業公債法改正案

の長き間には謎多の観題推移

があります であります であります 心を安定せむことを翻訳

町田民政黨總裁の演説

院御師は注目の的となつてゐる東京出版】迎帳被立金法案の衆

寺内陸相 先刻江原君の質問 次田法制局長官 特階 後に前田幸作氏(第二校記)質法可談は家法証反ではない より幹部と院内外器物に一任され たい』と述べたに對し、中村三之 四本も決定するものである、 質問節の質而たる退職権立金法条 ※信難大衆に對する民政黨の と述べ帯く収まつたがこの結果は ※は非常に重要な法案であり と述べ帯く収まつたがこの結果は

外六件(承諾を求むるの件)一、昭和九年第一散権金支出の件 上標で同じく委員長報告あつて 思想犯架體監察法案外一件 選舉法改正

政民兩派で決定した

兩決議案の主文

**专兩頭圖其單正、選擇主双王尚國** 

程として提出すること

「東京電話」資族院の職業紹介法

法案斷念か

會期を延長せず 田、八龍(近霧)澗田、安藤、松

、二十二日各派に交渉して同日案すること

新對英策を提げ

を始め、鑑賞充鑑株式資配法案、「により売つるため公成総行展度( 煮及總明放布路和波法案の二世と常純で問題の「恵記他被監察法案」は更近など母賦の「惠記論案公配」後途延るのは不綴文書など取締決。「東京范値」二十一日の深遠眺本」た総道建設及低度製能に活跃地監。「れるに考った、前して智・戦略に開発に開 民間質の意見が一致すれば廿二日 に至るまで數疑を重ね新く打切る | 同法第一條中六處一千五百八十萬 | なつたわけである。右禰案はいづ と喧韻が張することに廿一日の姿」るとしても大陰正は覚れず、その 部院を通過すること明歌となった しとしなったので、修正様項に配

退職積立金案で 氏政黨內紛糾

告通り可決歴定

會期の延長なき限り

取締、總師貝伽密保護の中法案 配進をはかり併せて不認文

節制回一委員曹において饗願を巡巡技に慎適を持つもの多數のため 部が政府の意向に理合するが知さに反對あるのみならず解内にも解 めたる前例なく、且つ政友館方面を組織に名を頼りて分端調立せし 対可決局二時五十七分敗簡した

符つて不想文書取締法条前に認加 本社に挨拶電報 日本研究次の如言疾患電視

けふの兩院 剛途憂慮さる 二十二日の貴族院

東語」民國派は巡邏群立金一中既正法律案特別委員額は二十一 **審議未了とならん** 日午後一時二十五分明館、採決の 結果全體一致可決同一時三十二

に関する法律案を経際は、廿一 【東京電話】 四族院上地鐵貨價格 耕地整理法特例

南東 人家を顕古して 世界の坊チャン のるシャリー・ 先場引 つけた英國の 六六八

外用薬デブピア

をものではありません 剤の如く、補助療法的 デラビアは從率の巴布

膜

TR 84

ると微波した今このニュー ッべに燃かり である本おま け頭赤な壁で がムテンプル として世界の

かった。
はきて総文化等取締法案、退職者立立。
の正教、権制戦略に関する。
を主教、権制戦略に関する。
は、選の配出案は二十二日中に近附さ
をれる機能であるため、使用延長か
されたの職を捕るは即は一枚にして
これたの職を捕るは即は一枚にして
これた。
これに関する衆権政の政策、政権 なほ避難破壊別のうち委職館の歌 ・ 電を終了し二十二日の本館職に放 め作為的態度は極力能ける方針で、底院としては微磁の促進を消るた底にという。 てたエチオピア郷野バドリオ将軍 は退能の成果を収めていよく、本 取刑令官として赫々たる武脈を借してボザベバ廿旦同盟] 度列道部 ーマに向け凱旋の途についた バドリオ元帥凱旋 劉策を協議した グラチアーニ將に挟し後事をア 路上既に九件 一件は衆議院を 例決定 行子 法暇行條例の 信を取締るべ 條例を決定。 中央政務委員 後述付さるべ 丁し得るので 二十二日中北 不不不一 變變變高 ても無難なのが特長。 味が甘いから小兒は海 餘病併發を防ぎ、細退 を緩和するのみでなく 動物なる硬作的の吸敷 治療にも を願く且つ短縮します 務店にあり 一円八十編 店商邊田歐大東 TY 250

## その活躍は期待さる

帝國との間に支那周継、海軍周継、帝國との間に支那周継、海軍周継、 あり、吉田新大使の活躍は多大の 【東京電話】吉田駐英大便は二十 語を確立せしめんとする國民的財 となつてゐる。接的利害對立を打明國國水温の親 交打明の第一 確たらしめるものあり、日英の道 また晋日の日英剛盟締結當時を彷一待に對し、有田、吉田のコンビが 產業鐵道

に主題の現代を東西の古書の | 整路には、 一年のは、 一年のは、 日本のは、 日

交打明の第一段階として出視の としても戦戦の機様である

審議成績

アンはヤット安出生風を示し流 これを知つたテ

の炎症を和らげます。 田大阪 遴 商

THE THE PERSON OF THE PERSON O 子供と盗心

館胡能中、第二銭温で十六歳の少 聚生二百年祭記念燕衛文化展**院** 果京恭學博物館において、ワー

の後これが那人統章に関策な政意一氏は四月末から襲北道改革北郡地 つたのはこれが監御ではなく、モー 今日まで依然として行方不明のま お許し下さいといふ投影があつた の碑の後においてあるから、罪を 耳目を動かしたところである。そ まれたといふことは、常時創館の ので、小学生五十人を頻度してこ 触に徹配を返すやうにつとめたと を以て懲り、なるべく犯人が自能 れを探したけれどもつい見渡らず である。科像博物館で盗難に漫 赤腹膚水谷を観内大久保候。ずも隠北年化郡四谷面の熊家と知 も温敬の権を集めた孔小教の温典 したこの近島鉄は 三江思録』と称する宋·元版を類見 られた極比方において、宋の呂祖

であるが、何れも殺人が悲嘆もな、の隠古の認践であり交換刻本であの以前においても数次あったこと。 出版したもので域症の原生場際来 老だ解られといふのはいか。 飲むとなり同れは古山野柳原皇台 11明してゐるのに、破闘事 百年期)に星山李氏が当州に於て の旅覧主下九年(約六元版を成本として高麗

ò

落成前於

外周即

この問題について、秋保科学部|右に就き稽葉版上は語る 真合画・攝声僧光生の子郎の家に | あるが、全国自分は農業の問題をしまる。 かの地方一帯の史料を世報したが 先破歴化華化節地方に出張して・ によつて指定されるものであらう

とを纏めたので、今回は自分も前の

間上の物を確む者は、これまでの 職題の任ずるとに気がつく。「學 動館長の組るところを聞くと、お びに主義したければならぬ重大

権資を出して調査せしめた海、有一早建立思難を拜取した處果らずも 年記書の意味に対しています。 「日本水田楽功」 3118 1.481

後よく取調べてその犯人を取押へンズを儲まれたとがあるが、その りつい歌を犯すに至るものが多い 穏順上、相當の生活者の子弟乃を すうである。 苗窟に於いて実版レ **入人で、所部房的た盗跡によるも** 

が果大館船の子息であることがわ のよあるけれど、中には熱心の様と変がることが出来た、本義同郎と微比方に行つて見ると音ながらの

鑑んだもので、温緑によるもので 門館の重求からたまらなくなって が続く住んであるためであらる。 間上のものを確むものは、どうも かつたが、よく取調べて見ると思 うである。それは山の手には型間 山の手に居住する人の家に続いや はないといふことがわかった。學 たり、その他組織階級のもの

> 聖幽茶を 奶ぎ普勝

學校においても、その子弟の数 なにこの誘惑に陷入るおそれがあ の除りに、夢我夢中で罪を犯すも のが、鑑飾によらずしてその熱心 供の研究心とか好奇心とか云ふも るのであるから、家庭において しある。良家に飾った子女にして しょあることが暗ぶされてゐるの

前のためには、 萬金の用意を以て 知らしめる要がある。一家庭文兄 的見他からしても「獨占部」を制 生活においては、人間生存の第一 後の有機的一體としての統一國家 温調されて来たことであるが、 ものはわがもの同様に大切にする ことは、少年少女時代から公衆の もない。それについて特に必要な あたる必要があることは云ふまで し、阿家社會本位に住くるの道を 選である。 この公徳心の養成 との習慣をつけてやることであ 所道德であるが故に、 この関 ぶことは、過去においても勿論 即も公徳心の養成といふとが 

二月まだ光のとではあるがもってメリカの政界は既に此政 大原 を開いて自気の候補者を決定を開いて自気の候補者を決定を開いて自気の候補者を決定を開いて自気の候補者を決定した。

日本、一個大統領選集 おり、その原質に立候補するも するものとの二種かなく只道然と代表者

たり、その護機れによつて次 個音深大賞が指名する大変領 をある。そのほかこの州を選に は次の大統領を以つて自任す の連中が只人領を以つて自任す

外の事件が起らぬ限り六月の特出馬と確定してゐるので意ので意ので意ので意思してゐるので意 第の方は大量である。既に立る導に間違ひはないが、共和民主義大會は同氏を再指名す ランドン・ て始めて次の大統領たり得人選纂で敵篤の候補を打破

ら指名され十一月の大統領選を受けることが必要で、 「黒かになれない。 各領大官の指名

は十分ある。民主第にもルインが満出して来る供れは十分ある。民主第にもルインがルト氏切りに発源が入たメルト氏の連指った反対・ステル・スミス氏がわけでなくアル・スミス氏がした。 アイ・ス・ストルース ジェース・ス・ストルース ジェース・ス・ストルース ジボ出して 本るし、リンドベーダ 木曜日後の母は病薬危重になった曜日後の変は手術しに病院に入院

料の調査を行つてゐたが、はから 方に出張して同地に砂められた史 古暦第君山氏によつて趣見された 少田明経連動の近極学第五百年の |近県蘇は宋の朱子、周組憲二人の |であることが昭らかに刑記に載せ、欄されてゐたから本書の際決が元 儒教の貴い文獻 られたものである 中宗大王の時御宴に召されて燗酢 四百端年期中海が皇城で在目の時 舊家の權家から發見さる 朝鮮史修史官 稻

葉

士談

奉化一帯は文献の役にも兵水を発とに多大の興味をもつものである

壁であり欠それが講到本であるこ 親つてゐる、私は今この五無難を 主ひながら膨散の保管に続いては い、李朝五百年は艦数国であると艦艦の古いものは一つも見當らな

以つて今の選半島原来の最古の高

多しいものが、ないではないが

れたから愛多の古典が保存されて ゆるわけであらうが、搬出のこの

るのである

・のが傾伏し高麗本で、はその文献と ・のが傾伏し高麗本で、はその文献と ・のが傾伏し高麗本で、はその文献と

の部よりであらうことは思想され

歌朱子合作による四冊からなる即一歩歌を著した歌、過去したが、天 らうと云つてわざ!~本人に歸けはこの遺鬼物は必ず徹のものであ 御取済せになつて質問されたとい ふことである **建て正宗大王はわざり** のあまり御間に記て選中からこの させたと子、漁話が際はつてゐる しの連結は後世にまで得べられ、

等しく、從つて家元殿と海すべき 第であるが、由係近原線は支那に も日本にも非常に置まれて取職も 古神本であらうと想像してるた次

珍し

い新聞蒐集

(第・古文書)等をそれた「墓家名門」で慶多の職心を持つて行つたわけ「価を解めてをり、そのうち財富三年来表示副修覧では上として貢記」 【一」「「職を解めてをり、そのうち財富三年を表現を開発し、当上手」 鎮南浦府史編纂係安氏が

◇墨城新聞 (二○二○証二)

の難り間流

四九日號 明治的

**△同日敷 ○第四號日** 

施) 明治

◇叫予心是(治國新聞) に関する外交施政道最を載せてに関する外交施政道最を載せて

**八韓田昌爾州(川治三十八年)** 

光武四年九月二

一万二の日星城

市道工事種效益東獨以實際之機何罪日 NEWS (1905), 1,30, NO230 冷護城新聞(日刊) 新聞を漢城新聞と敗語してある

新順作家の書簡浩は、一・ 味噌汁哀話

他の最中に徳田林馨氏のお纏き

と結婚したが、この結婚には続く

海龍十二年五月

新子工学也用。 日期春刊建建田茲 日期春刊建建田茲

重具服用最改臣非 年上本

を管得してるたのであつた。 **火人は十三個の除曜汁のつくり方** は、帰職行の研究が重要な両目の ものは、誰でも味噌汁好きだと思 特に作家生活をしてゐる男とい 好きなので、用をいふものは一 盤氏も兄の一悪君も非常な味噌汁 ところが、いざ結婚をして見ると ましい後日寝がある。 一つだつたのだ、そして、實に、 いふのが、毎尚を新人は、父の秋 夫人の嫁入支度に

になってしまった、夫人がつくつ ので、この限ぐましい準備が無駄 善崎は覇代の除膺汁ぎらひだつた るではないかo く邪觀してある表情が思いやられ

あるものが自分だけだと思ったら 若し諸君が世界で不幸を背険つて 重なる不幸

市の機能感はデリの解験を申後し

後が低のところに行つた直ぐ後で

リについて蓋んで細胞なさい。水 オクラホマのタルサのベスト・テ

た、いる途中テリの車は破損し、

改と後の弟は怪我をした

元 氣 12" 15



式 株 菓 製系 會

5 SEN 10 -EN 20 SEM

大月四日 大里西 富田 商會 元山出帆 代理店 卵鮮運送支店 城津出帆 代理店 北鮮商船組入月三 日 清津出机 代編店 网络亚縣支店 网络亚縣支店

大月六 日 内地野田地 伏木道行、新樹、造 田、船川、青森、闽部、小樹 宮 シ島田内底町五優大宮脇ニシデ シ島田内底町五優大宮脇ニシデ シー・エールで、田田・御中 越アリズ部合蛙鹿部等河西側送り 嶋谷汽船株式會社

威海南、芝栗、大連行 **歐海衛、芝栗、大連行** 

內鮮運輸。出帆

代理医野口酒會

大和組回漕部

**曾員を募集** 

あるか、これが勝人と同時に多 新山六部を勝入すること、なつ 大邱】府では來る六月初切七年一あるが大いに開行されてゐる、龍

スピード化を圖る

交渉すべきものであると主張交々

植々臨済を進めたが郡は四名推

から開始される母嬢魔魚の取締以

丁生は十五名で秋空期の七日上の

として全部採用される国

土地收用令

ら第一回終了式を整行するが、終意跳響部のでは二十日午後一時か

ため道で本年度に新設した草地図一式を幾行、入資者は左の通り

中谷氏を推し

て鳧

|大概を勝入すること、なつ | 十三級に増し、環境用も七、八級に用した市バス三級を歴世と して現在動かしてある。| 十一級を二

うに双方歩みより深速に至り中谷|

Æ

開に入ったが皆織の土地家部

りなので昌では顕然上地以用令を 地質収に励せず工事は魅れらばか

「植栽状洗け一丁大百丁 金根、髪州の六ケ郎である。遊址は雄源、迎日、港道、

門に行ぶととなった。加して

**12] を實施しちよ田の除草中端 『明した、この角血薬脈にすればとして廿一日から一週間『楮の 「干七百八十圓の巨瓢に上ることがらるが、先刁本年度の新郷事』て酔へる水場画は半額五十八萬一** 

【仁川】中村美雄江さんが主宰す

仁川琴友會演奏會

間は全鮮重額の七割程度を占め

有認能されてあるのに鑑み | 菌として計入百四十四変、四十二 | 丸かかま、5-801 でかこう | 有認能されてあるのに鑑み | 高として計入百四十四変を続。 選する記込みで流利逆生に眺から全館産漁の七割様度を占め | 一百十二人

なは實際の数はより以上の多數に

固城漁組支所

ないため吸数時間も一定されず、 態で、遺域市日の如きは沿域一帯

人鮨の都度衛時終日収費を行る状

▲京傳及禮娑海所は下陽,門司、 ・ 選島、神戸、大阪、名田豊 ・ 選島、神戸、大阪、名田・豊 ・ 選島、神戸、大阪、名田・豊 ・ 選島、神戸、大阪、名田・豊 ・ は義幹頭牧師、田代、有人登手 ・ 「城舎原代河崎、高田、島田(康)」 ・ 「中下の諸氏

二変の漁獲物でへ端足に収容出来

五月二十五日から十四日間行うこ した内地主要米路場が市の視察は

「阿城」製漁業組合は昨年五月間

き脳質をしなければならぬ有機、

大邱の府營バス

新車を六臺購入し

支那海にまで及んでゐる

は共に独立を告げ、一時に僅か二ツク雑世委記版資所と支所事が所

ると南北辺及業者曾合の際上協定

すつたもんだで一週間潰

八百の漁船四千の漁夫は躍り

萬圓突破

漁村の更生を期待

結成されたが、 所は関係では 近 空間を進め館民の獲取、事業形 樹立中、この程備物設立の跳 十二日国民有志の協議を得 **二川山崎事業協師は去る** 

中間以上では非額三面以上では ・中間以上の高、正質員一時金三 ・中間以上の高、正質員一時金三 ・中間以上の高、正質員一時金三 ・中間以上の同、正質員一時金三 ・中間以上の同、正質員一時金三 ・中間以上の同、正質員一時金三 ・中間以上の同、正質員一時金三 ・中間以上の同、正質員一時金三 うとするものである 池出し都醇文化の向上に資

結核退治

結核學防協图支那由過時 接客業者に 活州署宣傳

、日平町十時半から署版上に資金銀げたので整築書局では

ム屋が早くも町頭に現れ。エ・アイスクリームを 仁川の夏姿

ンドの一部、キャト盟の、ダイヤー順能な移戦式を行い金川田野部金いであたがいよく、終上、スター盟である。二十二日年後三時から

塩である。二十二日午後三時から | 青野がから大、活着米飯町長それ

田村建立形院長、宮原剛便局長、

で校長から記念の講話をなず活で

九日夜は朝鮮明教總技を調へ公園、九日夜は朝鮮明教。後は講演を開館、十二年は「『 日選は説教、夜は講画を開加、

廿一日まで宗祖路職法要を賦し歴。【清州】四本創造では十八日から

**清州西本願寺** 

宗祖降誕法要

金が設山村を胸したがになる

語の質を明確した、最終日には日

道と国婆婆の下に心田明健大

食物してあるので中止して各単校める、全年は勘祭寺で航行列にも

に水井附手や球場建設に織力した

曜して見物が出来る、京城地裏に 加峻海承出級所長、磯京寛支広長であっくり|| 翻浜は酢々とした草に た牛城合部年版長、園宮宇副所長した銀いをなくするため芝生で靴 | 邦をはじめ徴年高路顕美で鳴らし

時局を供給継ます!

京城につぐ大規模で落成

川城傷

ふ非公式に開場

は四萬五千圓の巨質を投じ工事をつぐ名質ともに領罪第二の大野球

な球場開きを属すとになった、語。 官民有志の紅日試合を属しまづ非。 コンドの翻署を残しし月早々最大。 の新球場に於ける初報書の後前内。

公式な球型引きを行び全に川野郡

を集めてゐる。田場のメンバー

耕作者表彰

溫突改良調習會

河東の煙草

-四四三内東原常の良地作者姿勢。 紫伽智琴技術堂で道の風場地氏を「四東」場質出態所では十七日第 【河東】場では十五日河東公立版

公酒に 崇る

一川では甘味化し粕も下落

昂揚の聲價傷つく

國加永佐森伊西早

海軍記念日

郷下に太陽の直針を避け、卵裏ス

番品の問題に織する路談館を属すを集めて層井所長を中心に各種工 て二十九日午前中府内の各種工 ら宮龍町、道方面では向氏を案内 業所を心紫し午後から関係者 日京地行の途中大邱にも立帝 勝指度所長國井原太郎氏が二 模様であるが、たま~~ 原工 となったのでこの機能に所及

忠北の邑面

農村も潤

で

副業の莚も賣れ

ストツク全部一掃

三十一年前に故東郷元帥が投影狂

別程度もつきべりをし仁川酒の野が今年は一割五分位、晩酬酒は四 精選により例年一団位のつきべり

風事が職は二十六、七の南日世典 関うた優勝な特等の変取多語級定 関うた優勝な特等の変取多語級定 規支には、急等情収米已取引員が 場支には、急等情収米已取引員が

**硫營教育研究會** 

た、府内各官公署、學校顧證など 文語の三者合同で同日仁川神社で

配念祭を

「歌大に勢行するとになつ | 翻訳約 | 悪八百十 | 石で、脱粋の

回班軍品念日一二十十日今四へ

仁川」日本海大海戦大捷の第州

▲鮮鶴二千百五十三石▲鄭山宗

は低帯當局の指導質點で年々壓箔|年前内につくられた九萬貫の酒粕

の値下り緩削は一萬八干圓に上つ

交通安全週間

『歯の街々といけれる仁川の淸幽』が二十五難匠にガタ落もとなり今、は顧方。 算術である【二川】 贺野の建馬山に慰揄して】を刺嘘し遺櫛の如きは一貫四十錢【二十二日年初几時か

ととなったが科目

る日本海上に派肚な決意を聞め干

**上藝座談會** 國井氏迎へ 慶北で開く 一級機能なる色面に対ける路線の事がが近年金々転線を加へ乗に本事がが近年金々転線を加へ乗に本

所の設置を急務とされ既に商工管整備戦場を闘るには先づ工藝措等 【大郎】道内の丁寧品の品質向上

N含用は設立以来事務も順調に辿一工に耽き各部に質長短設立なる が、他道内の道器質器業一様を避した 「清州」米以維持施設たる部路圖「豊助倉川経営事務従事者の非行 籾倉庫の非行

防止の通達

【清州】思北道では地方行政の第

【釜山】大羽壁の型米に伴つて戦 | ックとして抱へ込んでるた謎も飛

るものとして設計を含いである

角フ米宣傳隊 内地へ出發

> 長は高調学・部分全立度・金倍 紫 と人前学育出した。 ようそうが近地の歌気館を鑑したなけない際、窓際の出田三五男はは云う十五日に登りの歌気館を鑑したなけないて春 【周城】山道高長から西城市長に 防御の震気を撃すしかと前衛州 李東斗闘員は四十名であ

私はまだ子供がないのでその代

夫人同伊着田した、以下その音田 朗らかに着任

長を常同二十日二二十四十二十四十二十日二二十四十二十日

がある。 は 事者と打合せ 発音で展定調印

「尿の病」と「性病」に

推奨する薬草(帰物)の質効

煙草密耕者减る

チフス蔓延の凶兆があり五月に入 となった流躍が終熄した皆りに響

ある、 天候不順が 月以降の製計は四十

四里華起文▲同郡良文 | 約字数に減少した四月田里文節鎬▲末曜都 | の長県北田里・県

白卅萬圓ばら撒く 初年度の決算終る

と過収新に併合した

西面及ひ岩角 所内の各施設

る下端峠の間

の都市制造質他必要のため一週間 【室山】郷質府の岩見技師は釜山

本府岩見技師

**聞のところ質拠十一萬二千七百** 經貨量外衙百四十九萬五千五

活、雄兩港の

十三日午後一時から家祖は歌照を【死登補】本願寺都先明寺では二

。無料進呈 非賣品 圖入說明書

永登浦光明寺

吟誕法要

四四十七段で<br />
喰工めた、<br />
延人大敗

一整部で各種の計画を樹立中で「運動場で春季點検を行ひ引続ぎ水」「「両側」 無種検証域の元質を掘る」られてゐる

日午後等時から分院公立が通學校

【層州】分院消防組では去る上四

發會式舉行

分院水防團

新車、雄雄の南西は南部一部 移管で出張

婦人質を中心とする配質層を駆す。紀行、開教器長及標度で離来時、

大邱に忠霊塔 いよくと起工

の建設工事は十六日他回祖と随意 事業として進行中であつた思難常 【大印】大印港軍職合分階の記念|| 小等科炳和(四【大印】大印港軍職合分階の記念|| 小藤大寶を開催。 等中第一(三八 入質者 入質者 一等意級

う

の柳川渚長は同日午後来着「十四日午前出設赴は、又新任」十四日午前出設赴は、又新任「空橋」 紫州に楽戦の石田寮部

では二十七日の一部の

製創士博スイア巡濁

ため東京から検

時半所外能亭里著学術像ス會は

牛獲八時から公牛関第九回定時

交通道徳の向上をはかると共に各 【大郎】既報・慶北道では大衆の 注主任南氏の歌 前一福で新任武 書願は十七日午 入所生は二十名を非習所では十八

から三日間交通安全護備を明備を明備 に吹き込んで交通過の未然防止に 業者に動し交通上の心帯を徹底的

な男兒誕生

統營邑會「統計員

型温素會を催す 是二百十名とは十八日と

1日 智麗県・膀胱史・密道民・湘天」は本海海に開閉して完成した戦争 地で 消傷・軽小便などはする機能とな の自旋を埋るの様でを確認し、京 地で 消傷・軽小便などはする機能とな の自旋を埋るの様でを確認し、京 連絡したりを超らすー加りを与 離底部には 短いにないました。 通常の影響が高さればならの 通常の影響が高さればならの 通常の影響が高さればならの 通常の影響が高さればならの 通子裏筋神は関目影楽は、年代 通子裏筋神は関目影楽な部・中込

**精神經衰弱** 深い原因がある 發育不全

健全發育を 器 機能障害

間くと共に患者

病があり、一 九日の如きは

の打合せを行 るので所では

見り、陰り、結曲等を心復し、戦 して、体験郷で気を度高し、不自理的エンツンデュング作用を提生 松行章、過〇の本、週〇、夢〇·

→ 小機能際等を脱位を指す、 このかあり、されを根板として磨っのかあり、されを根板として磨っ と共に、旅館成功の税率を除去せていません。 火生の営融を全まする と、情報回復せる人々の因みきれ 日常の編分まで側頭技術になった

ハガキで釧照管あれ 醫學博士五十餘氏實驗證明推獎 14、獨、俯專實特許 名譽金牌受領

+

◇ホリツク属空水治器 金玉回殿 MENHALE AREA

金四回送料 簡単順 四二段 ◇ホリツク包 華安全器 一個に成形する ○代金引換小包は | 說明書添付| 匿名で密送

◎効果不完全のニセモノあり、必ずホリック真母水治器をお求めあれ

概言有景七七

東京市芝區聯谷町十八 頭新療法研究

見所

劑療治息喘

喘息 文献及

十八 土地 建物 公金 (金) 所在地 羅爸區與安湖 (本) 大山 建物 (金) 医 (金) E (6) E (6)

25年 東京外四郡の監察は副業の製産も 丁では近く実破すべき昆込みで歴 度目標百二十萬枚の豫定もこの選 

【仁川】緑松瀬しや夏の実兵しアイス・クリー

水道の不備と借家の不足 仁川署も緩和に乗り出し 府でも對策講究

香報を施すことになったが調工要 標準を指摘する客、家真の値下 がはならぬため、所では根本的版 に扱う書、御具を宗平持ら 再報を施すことになったが調工要 標準を加いてある機 再報を施すことになったが調工要 標である

善策を施すことになったが農工製

展立方尺を結水するに至り、府水一狀態である

尺を結水してゐるが、本月に入つ





帰り石井校長より原事状況報告を

・蛹」となつてゐるため六月中山戦本戦

となつてゐるため六月中即能本演「職の觀表によれば四萬四千九百九

校で前年の實験に比し二千七百四

層女願則で記念旅聞を行び春川。 心に参拝の上高等女學校に用を

大學器加することになつてをり、 舉行するが、同個割に到しては新

散の倉庫通行第九城線の郷際東が このわれらが至の艦隊の代々たる

一帶にかけ来曾有の大防空山西を

【會學】既限、第十九師願では今一點に元きだち附至小眞智を修行す一てゐる、類の級思狀況は一般に良

ることになつてゐる

好であるが態態、新興の山地帯の

咸南の

春電掃立

出師に顧慮市民は早くも歌感して

【敵異】今春城南道内で勝立てる

四萬五千枚

**削消防艇、青少年駅、中初等學生徒** 

塔列する官民、郷軍ら

つの出迎へを受けながら同四時四

以上誰に山中友太市氏らの地方有

- 分別事里に入り、小部後 魔筆官

施設の進行が十分理解されてゐな 機の増設を計画してゐるがまだ回 不更生記型の調元に伊ひ逐年融重【威夷』成南道では本年度以降影

殖產糗增設

成南の計畫

八〇枚、永興10、〇〇〇枚、起州一、六〇〇枚、定平二、七咸州一、六〇〇枚、定平二、七咸與附二〇枚、元山府二五枚、

傳票を偽造

枚を偽造行使して機器されたも逆仙炭籔に雇はれ中停票二十八

「他の如きは測定委託が駆撃に治り、停申請件数はすでに百四十件に返

度になって破異法院で製作けた親・二十六候によってある。

懲役三年半

いのでこの配内務部長の名で質下

り所では一般から三笠鑑保の芸金

基金募集 任節の仮判によ

地大し併せて地方接換の促進に地大し併せて地方接換の利益を共同粉神を培養し複貨の利益を利益検は共販共傳を行ふ機構で にた。原組合に到し場段普及の通知を

直通

なる關係に置かれるかは軍大なれた蜷には既設隆業組合と如何 この殖産機が道内全般にቔ及ぎ環境すべく馬力をかけてある。近、共同販資、共同購入の電額を 近、道内全部で九十ヶ所を飛近、道内全部で九十ヶ所を飛近をしては光づ一組合五ヶ風するところ類る多いのでは

畜產物販賣

翻直の實施を削し、今年度像算に 領の一つとして課版に選する直通

れが禁不勘查費を計上したが愈

取の一つとして錦殿に選する真地「ヒマ北方に線走したが幸ひ味方に「龍に続水出来ることになったが、「偶塊」商工警部所では周時線短上げ線新紗「暖間の愛殿は開後に飛」にあった龍井上水道は昨今そ、順

商議が實現運動を起す 開城府の發展策として

ける沿線を踏査

は一方でなく一般から窓割されて 世常はなかつた、臓の総統版構築 この部に並げる上水道差質の発音

33

り、その手始めに左記委員が氏は

龍井の水道

日午脚九時自動単で開城を

## が私の念願

## 女子講習所を視察して 慈愛の籠る訓示

||復度が来||見、全校生に緻製館を訓節をなし「曹川」| たついで校庭で上級生の難刀節を 本年新たに設けられたところだけ は瞬村の中野蛇人を経成するためで、庭に女子調酔所に赴く、こと 場まで搬分 □一日の食質はいくら 温の方法等を買し、咨宿舎や炊事 筆を覗いて熊青中の登品個や、保 に總督も難心に視察した、先づ置 て限定より十五分遅れて校門を出

ない、私はからいよ考へから、 ない、私はからいよ考へから、 近年各地でもこの點に注意さ 近年各地でもこの點に注意さ でだ人(女子の活測を促す

であつて特主んの成績は本所の 特別し旧日低に都島崎の保証が下あって特主んの成績は本所の 特別に対き、政権にもつて勝りなほ更に てゐるがこれが能即機職として去更、 都地工に署及城職して渡び、る七日金村に治産極度設施にとて法更、 であるがこれが能即機職として法関・ であって特主んの成績は本所の 特別に対応的機職として法関・ であって特主人の成績は本所の 地域川で 新訳 であつて特主人の成績は本所の 地域川で 新訳 であつて特主人の成績は本所の 地域川で 新訳

行きことになった

日永、安徽義雄、庙洪樑 林漢章、宮内益男、宋星

清津埠頭の荷役は

現狀維持を希望

為內益男、宋星淳、全

出態、緩脱まで沿縄の質地踏真を

[龍井] 未對有の嚴懲に尋故既出

宮内の小作動観が湖地し毎日調停「蔵興」影響期を整くて戦判法院

小作爭議頻發

給水瀬く順調

新設の會寧飛行隊

鴨綠江增水

間向にあるので渡船は一般に中止 れば十九月以来の陰地で頻時江は 米七十の増水を来しなほ増水の 戦馬 新畑地路からの報告に

輝谷北方に 匪賊襲來

鷲軍の初陣

六月中旬本演習に先立ち

防空小演習を舉行

一部は寒枯れのためやく不良であ。戦級は手榴弾二酸を投擲したので 新能保証もメイトマイト 2 届を費 つた、先づ四元電頭より が脱ば主権頭に能を投稿したので「終稿」水懸等の八版戯に過ぎなか 脱れまでは、水懸等の八版戯に過ぎなか が成れます。 二木局水利工程場を製ひ、繁成中 北原河に二十餘名の即城現れ東亚 理拳北上門子北方約六キロの化線 [鏖旗] 去る十三日午後八時半頃

こことに意見の一致をみてるこうことに意見の一致をみてることに意見の一致をみてるかった。 雑貨商組合は顕述権に於ける。 雑貨商組合は顕述権に於ける。 といきには、 大切には、 大りには、 大り この候談があり続いて國行副領頭

運帰の現在の取扱ひ振りにも不適一は我を忘れて川に飛び込み助け 東山石 一及び第一年生朴宝武岩 火魔先せんとしてあるのを通りか [慶原] 郡內龍山川班校四千生村

いれんとしたので家道も

三年連續の凶作で

著しく減つた 高地帶の火田民

不顧のため的半より1、三日腫れ「たか――昭和七年以来総営北鮮明」に減少した。即も毎年の移住自動「西越合が直營区島に決した理由を「商泉川に守かくつた時界の変遣行してゐる、職立構設は「殿に落僕」如何に深刻 左端線を監武に及ぼし「年四月宗地祇では「萬五千九百戸」い、如き二、三の例を襲げて木材、米の唐をついて仲よう通徳の途中十二枚、大分五四四年の場別を収し、「展界1三年連載の高電電関作が「結果による姿は端が組入す途にす。清経直巻となれば宮原閣となると「ごごは去る十九日年間上時中別日十二枚、大分五四四年の場別を収し、「展界1三年連載の高電電関作が「結果による姿は端が組入す途にす。清経直巻となれば宮原閣となると「ごごは去る十九日年間上時中別日 Ք地帯士二郎も早さは気養郡の五 | 振の摺線に當つてゐる感所山殿滑 | は明和八年六百十戸、廊九隼六百 | 説明するところあつた、かくて縁 | が過つて河中に戦器し、縁流に孫 と融級的は五月三十日戦とみられ | 三貫八千年に渡してゐたが随作の「戸倉郡三千百年となってゐる」と出言日戦争は淵川郷の六月五日「墨嶽内に於ける火田氏はその當初「三十戸」ついで本年度は七百五十 【威廉】三年連般の盛地幣図作が一結果による形住者が相次ぎ遠に今 轉出者が二千百戸

津府

識

Ó

赤毛布配

0

あない 農村

なる程内地の農民は勤勉

なづ大大阪を見物

**る各郡に於ける間立様急枚数は左一粁階隊則もタイナマイト** 

監追非に闘する態度決定のため十 総移言後に於ける即頭作薬菌製造 八日午後三時から龍山郷館を開い したが出席者少く四元酸頭以下、 音連一商工資品所では清単正都

溺れる兄弟二人を

激流から救ひ上

講師直營となれば官邸的となると「ごごは去る十九日午前七時半前日 は木林面組合長としての立場から 議に入り直替な成論者もあり國際一き込まれ

宇垣總督の視察――美書書に成ちの明本

女子講習所に於ける師が

四月二十六日中前十時十三分最別四月二十六日中前十時十三分最別

分つ、成果を置ぐる衛部院勘殿が同範盃して同氏の側腕を属し快を

車に入る、程なく四川に登けば一

意を含み音本氏を誘って一同食堂

命合により一日使れて出館)は

製能された調査は一行、井上責作 型活題、李昌一、黃昌戲、養合黃 車、韓府屋の七名(柿本藤吉氏

**宗郎、孝弘仁、黃祖侯・妻台遺、南を遠ざ朱乙子並適する旅隠眺の歌された顔が戦一行、井上眞作 らすの酷い決意が燃えてゐる、羅淑が邦から内冑が北瀬瀬豊か 子には何ものかをつかまざれば跡** 

のはど「市の都市計畫、中央市基準を見受めるい」「ギュー」 世ずれば前のべき事態を生すべき 飲給を生じ若しこれをそのまし放 市武嶽を殿立してこれに備っる施一曳武綾の進砂しマよめる折帆とては坦日であるから速かに適常な初一瞬線するものではないかと大桁木 な継述を遂げさせたことけ内部各 者かを暗示してゐる、二日は大品 来の無濫御市の模型等は吾人に何 窓による至気番化、降雨清が、交將 れた、殊に大阪市電温局出品の無 業が進步観覚してゐるかに認かさ 都市とも辿りはない、その結果と 前組織の大陸化は都市をして急激 皆へない。近代の総両組織船に社 して現在の都市生活に極々の不備 した市営局の恩切な説明は感謝に tafalababastafabababasa 明来戦し部、呂、營祉客の主職者 部長可井真三氏等の一行は十九日 氏以下他與他に王子聖武朝野山林 十七日夜来得里の窓雨に悪まれば は途南なく膨素は心配してるたが 【悪源】播風場を紹く北町一帶に

「倉庫」北部製造の容派青山県一

地部に欧河され称一

幹部會寧へ

辞細配景した、一行の資幣的制はと質別の上市内及び親林線出線を かれて導されてゐる同社の進出に

制設局水の已むなき状態。中局が戦争してあるが殊に戯州都。では十一名に當つてある 羅津港の質狀にかんがみて て於實と腳時に直聲とせず當分域。那更折受 状維持を希望することに決定し四、咸南北部の郵便所是主てお書と岡局に直費とせず豊分集。 郵便所 長倉議 商議の態度を決定 日一萬人に對し届では十四名。郡 開盟都に百名、計賞七十三名で人 掘中の誇りとして喜んである 整を延得、大いに強を吐いた器で 「是面」鮮級無二部(洋語)入選 | 同元山分華局木下書記と共に 百五十一點の中に羅南から早坂吉! 段・栗県曹を開いた は一サポテンのある孤短! 古谷む! 般き栗県曹を開いた [開城] 昨年度中に結核局のため 野を出品、このうち二版入道の窓 は「範囲太魚と靴」で何れも見事 である、同校からは全年初めて三 学中で早坂君は五年古谷君は四年 人選した、南酒とも羅用中學在 結核菌の犠牲者 館展に入 初めての誇りに 五名に遊信 全校學げて大喜 部の狭脳を終ることが出来たかい 干を突破する盛況で十八日夏 手は五百名を算し、観報は毎日 が部内及び隣接各地からの参加選 日から四日間汶山川巡で開かれた 援の市民慰安難技大震は去る十五 たので二十日更に決筋戦を行つ 【汝山】紫菀的主庙、本址支局後 球ス層の決勝戦は十七日午 私(高隅)同食屋類(交河) |囲載 | 一等金順用(揚州)二部||新及び脚盟の入資器は左の通り 汶山市民 周舜泰(汶山)三等李興咨 地州三等推磨畫 (同) 雄基野球大會 競技大會 一回總假二點を入 支局後援で 雄倶遂に優勝

### われを忘れて飛込んだ 十六少年のお手柄

となって割く二名を載ひあげたが としたが万及ばずアワヤ兄弟もろ いつた郷立型院の生徒室が浩省、 心が健見、調節に飛び込み、必死 この態度な金指は近く當局から表 ころだと述べておいた。 は現在の四十萬尺類程度よって貯木郷が出來れば實際ので 先方の話では北鮮製 の資材位は容易に會學。

間のバス 汶山奉日川

慶源に慈雨

のたが去る五日附で遂に京は自 別バスを連聯してゐる京龍自動の 【汝山】規在京城と奉日川間に京 人れを申請し開催の頭等となつ。 部では改山まで路職延長総可を客 して汶山連西湾社でも同路線の緑 平六月に申嗣、これと時を同じる 京畿側勝つ

未實験 るもの

各位は卽時これを使用して快心の結果を得られよ。

論、專門外にまで灩々として使用せられ名聲益々高し

く愁眉を聞いた

社の路が野客戦け一段落を告げ

▲村井新義州主子製紙山林部長-人の 勁 き

に大量人、病院用あり)本人(男子慢性間疾用)

類 種質 島 商

東京市日

發賣元

友

一、騰楽後、早々なれば、短管十本入を使用する。 ・ 「「大阪の目的を達し感染の不安主な。 ・ 「東訪の目的を達し感染の不安主な。 ・ 東訪の目的を達し感染の不安主な。 , ルゴールの效果と用法は次の如し。 この長時間の殺菌深達作用を有するウラ 一、慢性或は再發は、

次ぎに中管十本入を使用すべし。

最初に短管十本入を使用

附 Ē 惡性か、或は數年、 使用して徹底的に治療し再發を防止すべし 性症は、短管、中管の次ぎに長管十本入を惡性か、或は數年、十數年にわたる固疾慢 (使用に要する時間、一本僅かに二、三分)(治療用としては一日一本或は二本使用の事) 【殺魔作用持續時間、一本にて三時間より六時間】

にて、その獨特の效力と、簡單な使用法とにより專門ものに非ず、幾多の專門家の研究實驗を經て發賣した,ルゴールは單に二三の博士、或は一二の病院にて實驗

ルゴールの種類と價格米、佛製法等資特許 カパー付 〇円七五 00周1 一百〇〇 日円田の 必ず都指定を乞ふ。 類似名あり、ウラルゴールの 類似名あり、ウラルゴールの (別を註文は近母者社員館

本入(男子保住及時間) 同本人(男子保住及再以用) 同分數解別、子文報報用) 同分子保住及再以用) 同 本入(後助用及び試用品)

H 田 合 資 會 社 電腦日本資土以及 上八十 七四七 電腦日本資土以及 上別九 七四七 本橋版本町三ノー

武明智進皇

淋 病 17 就

4、丸の目的を簡單安全に果し得るものは一として無い。的に会治しないのである。然るに従来の薬品叉び療法は質に多 湃病は其の病源地帯である尿道内の淋菌を撲滅せざれば、

盛大に開く

米

佛

英

U.52

五十分登川郡新北面新属里の世生 

の他を訪れ、中坐所年、婦人質能

を雑成せんがため、この語書所 を雑成せんがため、この語書所 が出来 たことはかれて曜 に関 いてるた、今世春川に書ったに いてるた。今世春川に書ったに

つに激励の言葉を残してここを出

位か」など詳細に取って質問しな める、一巡の後間割生の面順に出 報昭してゐる實際地にまで足を進 ら、馬鈴薯、桐、栗、朱板草を

華川 帯跡を 観察しつ <午後 三時 所、金化郡跡、華川郡上西面新蝦里 京明長の東道で京城群、鶴岡峰で しの自動車で途中最事訓練

持

と、外管は直に溶解し、内容の粉末は洗滌、管中に入れてある。故に之を尿道へ挿入するて粉末とし、此の粉末は直ちに溶解する細き灰深達性に富む色素劑とを、化學的に結合し、

ウラルゴールとは設菌力強大なる銀幣と枯

urarcol アーコルラッパ 

專

膏



うら 一覧の重荷を軽くする為 復もま

な役割をつこめます。 て、あらゆる疾病の内服薬が重要が ます。結核にかぎらず、汎 加味して、攝取せる食物の方は、たいがい消化樂等を 消化を昂める工夫をいたし だから、結核思者への處 結果を死かれません。

次第人

死の轉歸に近づ

のでありまして、身體羸弱とのほか蛋白消化を目的と もよろしいほごでありますとどう一瞬を大にして、帰の根本は、胃腸障碍と看でする場物も併用されます。 チャスターゼであります。 粉にを糖化する作用をもつ ものは、中すまでもなく澱 消化薬の主なる

いから、絶對に信用されてち克つことが出來ます。しずるはたらきがあります。 また身體の強壯なる者、日生が師にも素人にもすもよろしいほごであります。



# は體力的

告をしてのながら、さつば一ありません。こころが、消意外――な結果があらはれ一て、今日まで、廃んご胃腸 案外、 て、今日まで、焼んご胃腸 化力の試験をやつてみるこ

全な試験をやつてみました ・ 会な試験をやつてみました ・ の見そは、はつきり解り ・ の見では、はつきり解り ・ の見では、はつきり解り ・ 会教授の篤志であります。 ・ を教授の篤志であります。 ・ とりまします。 ・ とります。 ・ とりました ・ とりました ・ とります。 ・ とりました ・ とります。 ・ とりまする。 ・ とりまなる。 ・ とりなる。 | 本才 | 特長は、一時的で | の誇であります。 | その日に翻はればじめますます。 ます。

れば閲覧せしむ

支郷ください。東京は翌日、遠地でも著と別使に金一圓五十號の劉俊だけお選渉の値をはかります。一月分は、邦 い。それから維外は振善果京市六八一 は無料ですから速度なくお申込くだと 数日で聞きます。また各種添出の核原 二番へお眺込みください。

ます。ネオネオギーは、特を跳れ飛ばした實験でありを跳れ飛ばした實験でありての高度は、植物ホルモ つくる點であります。上のなく、體內に基本的證力を

全に保有せしめた品であり のまま抽出して、これを完 大學教授が協力して、 生體 殊植物のホルモンを多數の

## へあります。ひきい話であ | 實に强力で正確な作用を示 體重の増加を特に書いてる

たどいふ報告、長は間苦し であります。來訪あれば何な報告、慢性胃傷病を忘れ 『肥る樂』と呼ばれるワケまたは早老が回春したごい あります。 ネオネオギーが められた肺患を治療したと |人にも、喜んで公開して御 -全部で八千名 | 参考に供します。 る報告が、およそ、五千人

**丸圓 粉狀も同價** 

全國薬店に在

モノでありまして、圏に創墾元の住所自色の品がありましたら、それはニセ 直接のお申込みは、ハガキで申込 がありません。御住意ください。 棚でも粉削でも、緑色を帯びない単に 各地の報話にありますが、もし、難 入の注意 日本微生物研究所

島建設の大本練

は廿一日局長皇で一人群かに毛鍛り に入り二十六年間、長い役人生活 た、明治四十三年東大を出て駐布木麻郡長寺は鑑文の如く敬つてゐ 一重してゐたので西尚地方、魔策上

が雄々しき姿

電楽を観表することになった。 1880年月の中島の

絶對不離だ

期回の公的で問題となってゐた郷 康原定司 童人事撰公物縣百十

發】県京、新京園の所用時間を 【釜山にて藤井特派員

る定制丸(大子五百組)版客定

日珠行、目下新遺中の流

郷加班手は阪

日午期九時から開廷

穏て理想通りに

秋から氷が解けるまでの頻繁に

國富技師語る

國富說は寒暖流主張

我朝鮮は 当然にるて同

加

退

勿論、耐成致商事業、微微の畝修識、ルは地味で無口で初勤面の人々は「は出一巻書の片幅として脳村援興迦郷は「れないであらう、牛島氏のスタイ」から出た中島省三氏(\*\*)は薗五年間宇垣「東江と城に半島の人々は永久に誌」に入り作品が高長として昭和六年六月就低し」に努力、共功職は昭功に流れる器「た、昭和高長として昭和六年六月就低し」に努力、共功職は昭功に流れる器「た、昭和 《域縣知事から本府第五代目の内|張、地方祝調整理等の大事業完成 牛島さんがかに話る

任任滿五年間

水理七は二秋から春にかけ

**塾では飛車脈を骨ぽ** ちてるるので吸ばとそのおでんせ、CP で右線行を目用、同ほどのお金が度を縮まれるので細器 にはピオテンナの景紙マクチが落 出すので濃べると圧所でだっ の金六十五圓が消え失せた、取場。を一段ギュアとやつては十圓礼を

遂に飼路署に尻尾を捕へらる

と言ふので咽喉を刺す猛線

数化事業と十日間

なり沸き返る配費の交流となって深動頻解を築くのだ

「来る灼熱の蔵質を流れる様に本味へ得よう、差む力が顕動への一種だ、よる十二日から

遊弄があつて<u>観観を終り</u>、足能が関った、限いて聖職の捧選、東方

要論、山崎延吉豫の展道の大本、 表だ、八潜生男氏の壁村振興の

8 (竇競りよ午正) 延日丈日一日本 閣青來社報日城京

撤設立機は廿一日で終る禁定

秘爾

海水型を行ふこととなり、七月引直トン)は来る大月大日午期九時 20月 で西山町にかてき西中で本 選場で水工いの場所長、小原別地 つた本所選洋漁業保護監視船(三 概長始め各係説は分析性は内見定

適りの退表必難に然り上り、

桐

勝太郎らを迎

府民館の

一夜は拍手の嵐

進り御袂を受けて上告したもので

こころか多く 所謂海洋氣象を基礎として、永年の統計と更に五月畿調所長は度でから道際部を散く海洋常駅に重越をおき 寒暖流の動きに 支配されるかけ寒氣が續けば夏は必ず旱魃であると新製蔵を纏ぎしたのに登し、 園屋譜書

鈴木氏の新學説に國富氏動

遞信局の作

ル州帝國大學監督の给木牌士は秋から春

石一等機能士外二名所家し、豫定 な軍が励のため松山、新原間を最 きのふ京城着

朝の一な 一日の元氣を養ひ 1

※ 京日案内

和

ホテル

ました何奈朗整治の母調師中上げます。ました何奈朗整治の母調師中(日本の大時年中後五時は各選を支援側与一部の中で、大時間計算法の一部、中サービス時間計算法の一部、中サービス時間計算法の一部、中サービス時間計算法の一部、中サービス時間計算法の一部、中サービス時間計算法の日間語師中上げます。

宝学社、改正度、名字の原列版中上げます。 「本子ルは交通の何と共に調客は本意等予価度の意味方針に収止しました何卒的投資の原列版中上げます。

衣笠産婦士な笠

白桃、黄桃

枇杷、西洋梨

フルーツサラダ

柑

は本三三三五 W 益 社 京城府本町三丁自二十八番地 夜間楽談を乞ふ 外交員数名革急採用す

特別案内

一要を描づけにし大成功を収めた、

(店にあり) 鳳 樱 梨 桃

Peaches WARLE WELDING AND MOMOYA BRAND マンロ界を雷然り、、」、上格名
「五」川の字、河田の大学の知です。
「日も早くおご所に棚屋して下さい。一時間の数料代は値か多様、
「上の領派を教くに九分しかかい。」
「上の領派を教くに九分しかかい。」

日の丸工業所 京 城 營 業 所 遺話本局三六九四番へ 古市町 健法も有り

專賣軍着々優勝

電車に轢る

脚垣前で電車路を衝断しようとし

サー日午後三時頃京城竹本町東洋

んが、寝泉行き宝地に轢かれて

が推薦、母元は判らな

日けのふ

東京 桃屋發賣

● 指間水虫・股間いんきん

大阪髙 津表門筋

●頭・手

足のアレ

九二七南電・三七九版替振

**効能で賣れる** 

をかる

けふの天氣

事 國北 科崔

本家セシンや伊藤 長兵衛

京城南大門通四ノ六九(米倉町停留所斜向)

科茂 \_\_\_\_\_\_ 電本2 5912

同七時一分(東)朝の修希 穂公同七時 今日の天瀬見込 八時三〇分(東)國語譜壁(六 廿二日番組

一放送

**同四時** 〇分(軍)夏縣所大角力

(2) 家庭メモ

奙 易一事

いナア。これで何つから三度目よっ 一国つちゃうわっ全くしゃうがな してあげようと思ったのに 同八年三〇分

帝國を続る四

すは、ホッとして家へ蹴つた。 線な新開社の交流の中から、

干夜子の夫(三)

干夜子は、ベサーへと一人味氣

見習に、此の正月から進ひ始め

奥館ついきの大家の、女中の愛

分(大)管弦樂 一 舞歌である。 隆々たる問題に對して歐米別強は

大架脊縛(二) 佐慶泰輔

同六時 五分 (東) 基礎を 同六時五五分(東)カレント

しき婚姻

発するには各自がその<br />
家庭生活を 他曾生活の秩序と不和と幸福を治

思へば昨日は昔にて麓が石に盛た

交響されてあるものである。蘇幽 の大陸重及新設海軍を以てする重 (常以終了)神」夜八時

雪)

の難は『戀しくば尋ね來て見よ和 都から加茂の神臓保則の娘 ◇◆ほ花丸が四歳になった春、 あれてきたので、弧の萬

念を批画一般の民衆にしつかりと

敬に遥かつたばかりでなり

々の町山東面急殺、支那の空電中

常磐津仲登良

170

【適應症】 熱毒性膀胱肺卷足、 ●各地ノ有名

樂局樂店ニ有

製造所はカバーカバ薬化學研究所

迅速有利

京城府南大門通一丁目十九番地 朝鮮信託株式會社 木浦、平壤、大邱 喜

松)

はない徳を見へていばかりが勇者で

(坂) 上田高鮮中の走風 (坂) 上田高鮮中の走風 臨河城十市及 大將の器でしたがまた度量が

前田

らはこそ其常盤とても呼ばの此路 一覧答いたせ、サアモれは、サア

こ思へは異に慄然たるを得ないのであり終れな人生の敗惨者になるも瞬間の性物疾に身心共に惱され果は全生涯を苦悶の

遠き将來に求めるの悲運にのは之を閃光的に治療の全 プラス ない (最性用)

優待期日 抽籤其他

等

七百五拾名様

(男物、又八女物テ御自由二撰定) 染浴 衣地 壹 反

呈進くなれ洩品景

に新に寄統伊奏を附せるもの尺八で表す優婉な地明『黒紫』四、黒紫

新日本音樂 新管絃社

壹 賣 京等トモ御希望ノ品一點ヲ御自由ニ撰定) 寥 桐籐

ハイキング用品(六點) 銘 仙 座 蒲 團 電時計付デスクセット フ 等 ラ ・タブル蓄音 讀 百 名 ンス 型 Ē 人シ 形ン

简 Þ 壹壹壹壹壹 壹壹壹五壹 個臺臺本組 臺臺揃帖粗

等 椅 子萱 七百 7名

愛用者優待 方 法

東店 東京駐 火品

峬 繭

松

龥 金國日刊新聞紙上一發 昭和拾當年八月中旬抽 表籤

昭和拾登年七月不日迄

年和と幸福を誕生せ-めその

五 角 金 <u>雅</u> 封 香

· · · · ·

んで変を隠すという真の楽子跳っ音を書置きして我子に跳れを

1用鉄倉 苦痛苦痛云めず のんて見絵へ

御